

まちづくり担い手講座

来たれ! あきたの花咲隊

まちのデザイン、まちづくりの組織・お金について考える体験型の連続講座。花咲じいさんのようにまちをにぎやかにしよう! 会場はアルヴェ3階市民交流サロン、2階多目的ホールなど。先着30人。

対象 高校生以上 参加費 無料(の昼食代は自己負担)

日程

- 10月17日(水)午後7時~9時「そこに居て、住まうことが心地よいまち、づくりを考えてみよう」
講師: 公立美術工芸短大教授の島屋純晴さん
- 10月20日(土)午前10時~午後3時「まちを識(し)る」
実際に秋田駅周辺を歩いてみます
- 11月7日(水)午後7時~9時「よく考えよう、お金は大事だよ」
講師: 国際教養大学准教授の山本尚史さん
- 11月10日(土)午後6時30分~9時「ヨルカイギannex」
市民活動をしているかたちとフリートークング
- 11月14日(水)午後7時~9時(予定)「自分たちにできること」
ワークショップ形式で話し合います

申し込み

電話かEメールで、10月15日(月)まで、都市計画課計画担当へ。TEL(866)2152 Eメール ro-urim@city.akita.akita.jp



宅地内の漏水修理

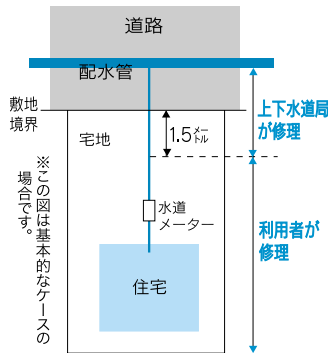
宅地内の漏水修理は、漏水箇所が道路の境界から宅地内1.5m以内()の場合は市上下水道局が費用を負担し(同局が認めた場合に限る)、それ以外は利用者が費用負担することになります。

道路からの距離「1.5m」は第一止水栓の設置場所を目安に決めたものです。

宅地内に限らず、漏水を発見した場合は市上下水道局維持管理課へ連絡してください。

問い合わせ

市上下水道局維持管理課
TEL(823)8433(平日8:30~17:30)
TEL(823)8431(夜間、土・日、祝日)



「秋田ふるさと市民賞」 登山家の小松由佳さんに

受賞第1号!



小松由佳さん

秋田市出身の登山家・小松由佳さんに「秋田ふるさと市民賞」を贈ることに決定しました。秋田ふるさと市民賞は、市民の希望、誇りとなる卓越した活躍をたたえようと、平成11年に市制110周年を記念して創設したものです。小松さんが初の受賞となります。

小松さんは昨年8月、世界第二の高峰「K2(パキスタン北部、8,611m)」に日本人女性として初めて登頂。その快挙が市民に大きな感動を与えました。

表彰式は11月8日、小松さんの母校である泉中学校で行います。

ウラジオストク市主催 国際子ども絵画コンテスト

一席 佐藤あすかさん
(将軍野中1年・写真右)

特別賞 黒澤拓さん
(将軍野中1年)



古四王神社を題材に制作

姉妹都市ウラジオストク市が今年6月に行った国際子ども絵画コンテスト「私のまちの絵」。世界各地から1,500点の応募があった中で、秋田市から佐藤あすかさん(一席・将軍野中1年)と黒澤拓さん(特別賞・同)が見事入賞しました。おめでとうございます。

弥生っこ村まつり

10月20日(土)

午前10時~午後3時

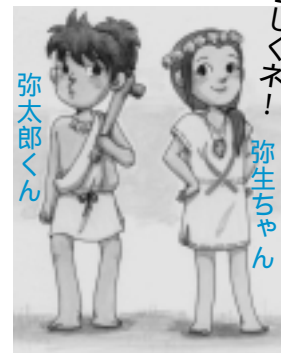
地蔵田遺跡(御所野)

土器の模様付け、火おこしなど弥生体験イベントのほか、大型火おこし器を使った国体の炬火採火式を再現します。雑煮・野菜の販売もあります。ぜひお越しください。

問い合わせ 文化振興室TEL(866)2246

● 弥生っこ村キャラクターの ● 名前が決まったよ

- みなさんから応募いただいた
- 弥生っこ村のキャラクター名が
- 「弥太郎くん」と「弥生ちゃん」
- に決まりました。
- すてきな名前を付けてくれた
- 伊藤隆夫さん(飯島)には、10月
- 20日の弥生っこ村まつりで感
- 謝状を贈ります。



弥太郎くん

よろしくネ!
弥生ちゃん

あなたの就職を応援！ 42の無料セミナー



コールセンターのCRファクトリーで

「戦後最長の景気拡大」と言われていますが、秋田の雇用状況は依然、全国平均を下回っています。厳しい雇用情勢の中、市では、雇用に直結する42の無料セミナーを開催します。

新たな雇用対策事業

企業ニーズが高い人材を 育てるセミナーです。

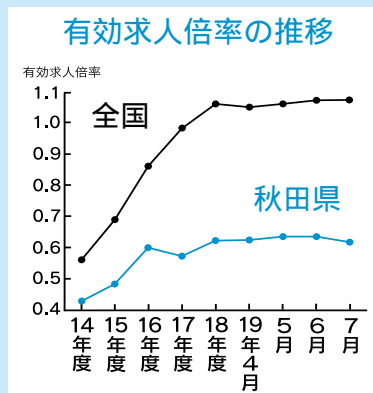
全国の有効求人倍率は、企業業績の好調さや、団塊の世代の定年退職による人手不足感の強まりから、平成17年12月に1.0倍に回復し、その後、1倍台を維持しています。

しかし、秋田県の状況はそれほど好転せず、今年7月になっても0.62倍と、全国平均を大きく下回ったままです。

地域雇用創造推進事業で 雇用情勢回復へ！

地方におけるこうした雇用情勢を改善するため、国では、自主的に雇用機会をつくろうとする地域に委託する「地域雇用創造推進事業」を始めました。

この委託を受けるためには、市町村、地域の経済団体などが共同で事業の実施主体となることが必要なことから、本市では、経済団体や周辺の市と連携し、



「新規・有効求人倍率と完全失業率の推移」
(秋田労働局)

「秋田地域雇用創造協議会」を結成。全国的に人材が不足しているIT技術者と大量雇用が見込めるコールセンタースタッフの育成を中心とした雇用対策、および団塊の世代を対象とした起業化支援の事業計画を国へ提出しました。

選考の結果、雇用創造効果が高いとして、このほど同協議会への委託が決定しました。今月から来年3月までの間に、雇用につながる人材を育成する42の無料セミナーを開催します！

セミナー一覧は
次のページに！